

日本基礎老化学会サーキュラー第 111 号

日本基礎老化学会 Japan Society for Biomedical Gerontology

2018年5月1日 発行

ようこそ、新入会員の皆さん！

シンポジウム、学会誌・基礎老化研究誌やサーキュラーを存分に利用ください。学会の最大行事・基礎老化学会大会（年会）がまもなく東京理科大学で行われます（樋上理事大会長）。是非年会に参加して、老化や様々な分野のエキスパートと話し、激アツ老化研究に触れてください。発表する40歳以下の方は奨励賞受賞の可能性もあります。

日本基礎老化学会では魅力ある学会を目指して改革を進めています。詳細は、理事会議事録をお読みください。皆さんからも学会への要望・提案を事務局へお寄せください。

サーキュラー111号をお届けします。興味のある記事をクリックしてお読みください。

庶務理事 遠藤昌吾

111号の目次

■ プレイバック日本基礎老化学会の歴史

新会員も増えたので、日本の老化研究そして基礎老化学会の歴史を少しだけ紐解いてみましょう。基礎老化学会は昨年（2017年）40周年を迎えました。。

[続きを読む](#)

■ “IAGG Asia/Oceania Congress”って何？

IAGG(国際老年学会、The international Association of Gerontology and Geriatrics)のアジアオセアニア地区大会の事です。次回は、2019年10月24-27に台北で開催。。

[続きを読む](#)

■ 2017年度第2回基礎老化学会理事会議事録 [学会の“これから”がここに！](#)

■ 【事務局より】 [事務局連絡先、入会、退会、会員情報変更、会費などについて](#)

■ 【日本基礎老化学会関連行事 今後の開催予定】 [国内外の学会などの情報です。](#)

■ 【会員の動向】 [正会員数、学生会員数、賛助会員数です。](#)

■ 【日本基礎老化学会賛助会員・広告会員一覧】 [基礎老化学会を支えている企業や団体。](#)

■ 【基礎老化学会ロゴマーク】 [学会ロゴマークの意味をご存知ですか？](#)

プレイバック日本基礎老化学会の歴史

新会員も増えたので、日本の老化研究そして基礎老化学会の歴史を少しだけ紐解いてみましょう。基礎老化学会は昨年（2017年）40周年を迎えました。

- 1972年 東京都老人総合研究所設立
(現・東京都健康長寿医療センター研究所)
- 1977年 日本基礎老化研究会設立
代表幹事 太田邦男
- 1981年 日本基礎老化学会設立
歴代会長 太田邦男、今堀和広、
鈴木曄之、佐藤昭夫、後藤佐多良、
丸山直紀、石井直明
理事長へ名称変更（2012年）
石井直明、下川功（現在）
- 1995年 国立療養所中部病院
長寿医療研究センター設立
(現・国立長寿医療研究センター)

学会主催の年次大会、シンポジウム、そして、役員の歴史は、基礎老化研究 42 (1) 47 ページをごらんください。温故知新、今にも通じるシンポジウムのタイトルが並んでいます。

国が重い腰を上げたのが1995年ですから、1977年当時に高齢化社会を見越して老化専門の研究所を作った美濃部都知事の見方はすばらしい。

基礎老化学会の会長や理事長には、老化研究の重鎮たちが並んでいます。歴史の長さで言えば、たとえば分子生物学会の設立は1987年ですから、基礎老化学会が長い歴史を持ちます。え、分子生物学会より長い歴史ってことは老化してるってこと？いえいえ、老化しないように、いろいろ改革を進めています、だって老化研究のエキスパートですから。

[目次へ](#)

“IAGG Asia/Oceania” って何？

IAGG(国際老年学会) Asia/Oceania Regional Congress の事です。次回は、2019年10月24-27日に台北で開催されます(<http://www.iagg2019.org/>)。IAGGは老年学の世界組織ですが、世界を5つに分けて、地区ごとの活動もします(ロゴも5地区！)；

African Region;

Asia/Oceania Region;

European Region;

North American Region;

South America and Caribbean Region;

それぞれの地区が開催する Regional Congress (地区大会) の一つ、アジア・オセアニア地区 Regional Congress は4年に1回開催されます。

地区ごとの大会に加えて、世界大会 (IAGG WORLD Congress of Gerontology and Geriatrics) が4年ごとに開催され昨年のサンフランシスコでは6000名の参加者がありました。世界大会の開催予定は以下の通りです。参加してみたいかでしょう；

2021年 Buenos Aires (Argentina, 6/20-24)

<http://www.iagg2021.org/>

2025年 Amsterdam (Nederland, 8/3-7)

世界大会は、世界5つの地区が持ち回りで開催しており、2029年はアジア・オセアニア地区が世界大会開催の担当です。

日本老年学会では、2023年の地区大会に加えて2029年の世界大会を主催すべく、今年3月に招致委員会を立ち上げ開催を目指しています(下川理事長、石神理事が基礎老化学会代表の招致委員です)。2023年の地区大会の開催地は2019年の台北で、2029年の世界大会開催地は2021年のブエノスアイレスで、それぞれ世界のカウンシルメンバーの投票により決定されます。ガンバレ日本！



[目次へ](#)

日時：2018 年 1 月 27 日（土）16:15-17:50

場所：AP 東京八重洲通り、11 階 O（オー）室

出席：下川（理事長、議長）、遠藤（玉）、重本、清水、杉本、樋口、細川、堀田、森、山下、遠藤（昌）（以上、理事）、丸山、樋上、石神（以上、大会理事）、新海、内田（以上、監事）

欠席：石井、近藤（委任状提出、議長あて）

I. 下川功 理事長挨拶

省略

II. 第 40 回日本基礎老化学会大会終了報告：丸山光生大会長
詳細報告は基礎老化研究誌に掲載。

130 名の参加があり、成功裏に開催された。

年会の収支について報告—840 万円の予算。

剰余金が学会へ寄付された。

III. 審議・報告事項

1. 平成 29 年度予算執行状況：堀田 会計理事

12 月 15 日現在の予算執行状況が報告された。

・第 40 回の剰余金は最終決算には反映される。

・30 年度の会費を納めた人がいるのはなぜか？

複数年度分、まとめて払ってくれた人がいる。

来年度分は来年度の会計に含める。

・大きな助けになる賛助会員を是非増やしてほしい。

----- 年会 -----

2. 第 41 回(2018 年)日本基礎老化学会大会

準備状況報告 大会長 樋上 大会理事（東京理科大）

・5 月 31 日（木）—6 月 2 日（土）、東京理科大学葛飾キャンパス

会場は 1 か所、500 人の会場

・事前登録を開始した、演題登録締め切りは 2/28

日程

5/30（前日）に理事会

6/1 日韓シンポジウム

6/2 理科大のトランスレーショナル部門と合同でシンポジウム

3. 第 42 回(2019 年)日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

準備状況報告 大会長 石神 大会理事（東京都老人研）

6 月 6 日—8 日、仙台国際センターなど

7 学会を 1 会場で開催できないため会場が分散される。

・基礎老化学会は、仙台国際センター1 階会議室

200 人の会場（100 人 x2 会場に分割可能）

1 日目 会長講演、特別講演、合同懇親会

2、3 日目 基礎老化学会

3 日目 市民フォーラム

（伊達泰宗（伊達家 18 代当主）、川島隆太（東北大、加齢研）

・ポスター会場の確保が難しいので、

口頭発表のみとして 100 名 x2 会場で実施する予定

合同のシンポジウムを利用して基礎老化として大きなシンポジウムを行わない。

じっくり議論する機会を提供したい。

4. 第 43 回（2020 年）日本基礎老化学会大会

大会長 下川功 理事長（長崎大学）

5 月 27-29 日、長崎大学医学部記念講堂

懇親会を屋外で行いたい。

-----シンポジウム-----

5. 第 38 回(2017 年)秋のシンポジウム（京都）終了報告

世話人 近藤 理事（代理 清水理事）

内容は基礎老化研究誌に掲載。

内容報告と学会補助金の収支報告があった。

収支報告が了承された。

6. 第 39 回(2018 年)秋のシンポジウム 準備状況報告

世話人 清水 理事

日時 10/13（土）午後

場所 千葉大学けやき会館 西千葉駅すぐ

特別講演 2 名； 若手招待講演 3-4 名

懇親会を予定

-----各種委員会等-----

7. 会則・細則改正について（理事定員数削減案など）： 事務局

会則・細則改正について簡単な説明があり。

監事のチェック、評議員会、総会での承認必要。

監事の承認済み。

会則、細則の改正案が承認された。

8. 評議員選出方法改正について： 理事長

理事長提案の評議員選出方法について主に以下の事項が議論された；

1) 定員についての議論

2) 理事が推薦できる人数についての議論

3) 評議員が理事になった場合についての議論

4) 定年（65 歳）についての議論

議論を基にして、今後の進め方について以下の合意が得られた；

- ・現在の評議員に、新しく選出する推薦評議員を加える。
- ・選出方法を変更すること
来年初めの評議員選挙を行わないように改正を行う
- ・評議員の定数を設けないこと
- ・評議員の定年を設けないこと
- ・自薦は不可とすること
- ・評議員の年会費は理事と同額とすること
- ・評議員への推薦条件について意見集約すること（事務局）
（5年以上の学会在籍に加える条件）

さらに会則・細則、内規へ反映させる事項（方針）として以下の事項があげられた；

- ・実施時期を明確にする。
- ・推薦方法について、推薦をいつ行うのか明確にする。
- ・学会活動、年会とシンポジウム参加回数を推薦条件に加える。
- ・理事、理事長の推薦等には関わらない。

以上の条件を考えて、評議員選出方法を立案する。

9. 編集委員会： 清水 編集理事

- ・基礎老化研究誌の発行は順調に進んでいる。
- ・本年から大会号を含めて、年3号発行となる。

10. 広報・HP 委員会報告： 杉本 理事

- ・サーバーの変更、問題なく運用中。

ただし、アクセス解析方法が変わって長期間の解析が難しくなった。

- ・HP へのアクセスを増やす努力が必要。
- ・若い人興味を持ってもらう努力が必要。
- ・さらなるコンテンツの充実に努める。

IV. その他

11. 日本老年学会 将来計画委員会・プログラム委員会報告： 理事長

- ・2021 年の老年学会総会大会長として井口昭久（名大名誉教授）が候補としてあがっている旨が報告された。

- ・名古屋開催の場合には

丸山光生理事が 2021 年基礎老化学会大会長となることが承認された。

IAGG 関連の今後の行事

2019 年 IAGG Asia/Oceania Regional Congress (Taipei, Taiwan)

2021 年 IAGG2021 (Buenos Aires, Argentina)

2023 年 IAGG Asia/Oceania Regional Congress 日本が立候補予定

2025 年 IAGG2025 (Amsterdam, Netherland)

2029 年 IAGG2029 日本が立候補予定

【事務局より】

[目次へ](#)

本会事務局の連絡先は以下の通りです。

会員事務、学会事務等についてのお問い合わせは以下へお願いします。

本学会をよりよいものにするためには会員の協力が不可欠です。学会への要望等についても遠慮なく事務局へお寄せください。お待ちしております。

〒173-0015

東京都板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター研究所内

日本基礎老化学会事務局

FAX: 03-3579-4776 e-mail: secretariat@jsbmg.jp web site: <http://www.jsbmg.jp/>

【日本基礎老化学会入会のご案内】

入会希望の方は、日本基礎老化学会 web site (www.jsbmg.jp/contact.html) に掲載されている入会申込書 (MS Word 版) に記入し、事務局へ e-mail か郵便で送付してください。学生会員として入会の場合は、学生証などを PDF ファイルで添付してください。

【会費納入のお願い】

会費は正会員が 7000 円 (理事 10000 円、評議員 8000 円)、学生会員は 2000 円です。未納分についての確認は、事務局 (secretariat@jsbmg.jp) にお問い合わせください。

※学生会員は年に 1 度 (年度初め) 学生であることを証明できる書類を提示してください。

大会に参加する場合は事務局受付での提示も可能です。

【銀行振込の場合】

銀行振込の場合は、振込者の名前が事務局に通知されません。お手数ですが、振込んだ際には事務局にお知らせください (secretariat@jsbmg.jp)。

みずほ銀行 (銀行コード 0001)

大山支店 (支店番号 628)

普通 1034063

名前 (口座使用者): 日本基礎老化学会

【郵便局利用の場合】

郵便局間の振込

口座記号番号 00170-3-46043

加入者名 日本基礎老化学会

他金融機関からゆうちょ銀行に振り込む際の振込用口座番号

0-9 (ゼロイチキュウ) 店 当座 0046043

【基礎老化研究誌購読について】

学会年会費（正会員、学生会員）には、簡易印刷版（白黒版）基礎老化研究誌購読料が含まれています。フルカラー版は学会 HP からダウンロードしてご利用ください。会員にはパスワードを配布しています。パスワードが不明の方は事務局（secretariat@jsbmj.jp）にお問い合わせください。

【日本基礎老化学会の賛助会員のご案内】

日本基礎老化学会では、科学研究を通じて高齢化社会に寄与することをめざしています。学会の活性化や会誌の充実に努め、さらに、その基盤の強化をはかるべく、個人や企業を対象にして広く賛助会員を募っています。会費は一口、年 5 万円です。賛助会員には以下の特典があります。

- （１） 学会誌「基礎老化研究」冊子体を毎号お送りいたします。
- （２） 「基礎老化研究」に広告（A4 半ページ）を年 3 回無料で掲載します。

賛助会員の詳細は学会事務局にお問い合わせください。

【基礎老化研究誌への広告掲載について】

基礎老化研究誌では広告を募集しています。

1 ページ 5 万円で年 3 回掲載します。ご希望の方は学会事務局にメールにてお問い合わせください。

【入退会、休会、住所等の変更、会費等】

入退会、休会、住所変更、会費、その他不明の事がありましたら、遠慮なく事務局へお問い合わせください。また、就職や異動等があった事と思います。大学の研究室や職場を離れた会員については、指導教官や上司から事務局（secretariat@jsbmj.jp）へ連絡をいただくと大変助かります。

【退会について】

退会の処理を適切に行うために、下記の事項をお守りください。

- （１） 退会の際は、ご自身の署名と捺印のある退会届（書式自由）を事務局までお送りください。急ぎの場合は e-mail による退会手続きも受け付けます（secretariat@jsbmj.jp）。
- （２） 日本基礎老化学会の会計年度は 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日です。退会が年度途中でも、その年度の「年会費」はお支払いください。退会予定の方は早めにお知らせください。

【e-mail について】

学会事務局と会員の皆様との連絡に e-mail を活用しています。e-mail アドレスを変更した方は、本会事務局宛にお知らせください（secretariat@jsbmj.jp）。協力をお願いいたします。

日本基礎老化学会大会（年会）

2018 年

第 41 回日本基礎老化学会大会

「基礎老化研究からトランスレーショナルリサーチへ」

大会長 樋上賀一（東京理科大）

日時：2018 年 5 月 31 日（木）～6 月 2 日（土）

場所：東京理科大 葛飾キャンパス

大会事務局：東京理科大学 分子病理・代謝学研究室

〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641

問い合わせ先：jsbg2018@rs.tus.ac.jp

大会 HP：<http://www.rs.tus.ac.jp/jsbg2018/>

2019 年

第 42 回日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

大会長 石神昭人（東京都老人研）

日時：2019 年 6 月 6 日（木）～9 日（日）

場所：仙台国際センターなど

大会 HP：http://geront.jp/news/pdf/poster_31st.pdf

2020 年

第 43 回日本基礎老化学会大会

大会長 下川功（長崎大学）

2021 年

第 44 回日本基礎老化学会大会（7 学会合同会）

大会長：丸山光生（国立長寿研）

日時：未定

場所：名古屋

秋のシンポジウム

2018 年

第 39 回日本基礎老化学会シンポジウム

世話人 清水孝彦（千葉大学）

日時：日時 10/13（土）午後

場所：千葉大学けやき会館（西千葉駅すぐ）

2019 年

AIGG2019 Asia/Oceania

“Health & Wellbeing in the Silver World: From Bench to Policy”

Date; October 24-27, 2019

Place; Taipei International Convention Center

<http://www.iagg2019.org/>

2021 年

The 22nd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2021)

Date; June 20-24, 2021

Buenos Aires, Argentina

<http://www.iagg2021.org/>

2025 年

The 23rd World Congress of Gerontology and Geriatrics (IAGG 2025)

Date; August 3-7, 2025

Amsterdam, Nederland

老化関連の国際会議や海外の老化研究施設をまとめた web site があります。
留学先や海外で開催される老化研究関連学会を探すのにご利用ください；

JenAge Information Center

<http://info-centre.jenage.de/ageing/meetings-calendar.html>

JSBMG

【会員の動向】2018年3月末

正会員：235名

学生会員：45名

合計：280名

賛助会員：10団体

【日本基礎老化学会賛助会員・広告会員一覧】

下記の諸団体が賛助会員として本学会を支えています。協力を感謝いたします。

賛助会員は随時募集しています。事務局にお問い合わせください。

あなたの会社も賛助会員として老化研究を支えてみませんか？

入会をお待ちしています！

合同会社オータニ

ココロ力株式会社

小林製薬中央研究所 <http://www.kobayashi.co.jp/>

重岡胃腸科外科医院

東洋レジン株式会社 <http://www.resin.co.jp/>

日本水産株式会社 <http://www.nissui.co.jp/>

(株) ファンケル総合研究所 <http://www.fancl.jp/>

(株) 不二工芸製作所 <http://www.sobanome.co.jp/>

(株) 明治研究本部 <http://www.meiji.co.jp/>

Medical Information Network

医療法人裕和会 <http://www.nagaoclinic.or.jp/>



基礎老化学会のロゴマークの意味をご存知ですか？

左から右へと人の一生を表しています。

常陸太田市の平山敬二さんのデザインで、

2015 年に多数の公募作品の中から選ばれました。

日本基礎老化学会 **サ**—**キ** **ユ** **ラ**— 第 111 号

2018 年 5 月 1 日発行

日本基礎老化学会

企画・発行 日本基礎老化学会事務局

(編集 遠藤昌吾)

173-0015

板橋区栄町 35-2

東京都健康長寿医療センター内